

認定農業者が取り組んだ事例（H27年度）
【再生作業と老朽ハウスの撤去を実施した事例】

□ **土佐市新居地区** □

耕作放棄地の状況

放棄の理由： 前耕作者がハウスを残したまま耕作を放棄したため
荒廃の程度： 雑草の繁茂があり、老朽化したハウスがある

取組の概要

対象面積： 11a
実施期間： 平成28年1月30日～平成28年2月4日
取組主体： 認定農業者
取組契機と経緯： 農業委員が所有者と耕作者の斡旋を行い、再生事業の活用を図った。
作業内容： 重機を使用して再生作業を実施、老朽ハウスの撤去、障害物の除去を実施する
今後の予定： 露地野菜を栽培する予定



荒廃状況



整備後

⇒

